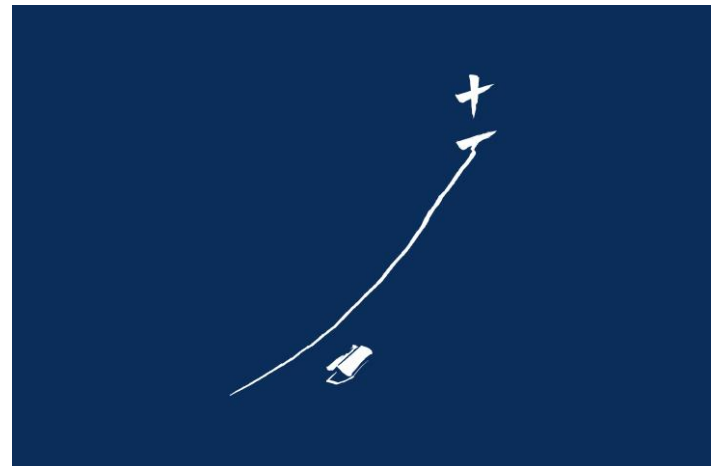


月桂冠グループ会社の松山酒造(京都伏見) 2023年1月、新たな酒造りがスタート



▲最初の麴(こうじ)づくりを開始、種もやしを蒸した米に散布し、温度調整を進行させていく(2023年1月17日撮影)。右下は松山酒造の新ブランド「十石」(じっこく)の意匠

月桂冠株式会社のグループ会社である松山酒造株式会社(京都市伏見区東堺町、社長・秦洋二=はた・ようじ、月桂冠・専務取締役・製造本部長)が、京都にこだわった酒蔵として再スタートを切ることになり、2023年1月から、製造スタイルを一新した新たな酒造りがスタートしました。

1月17日(火)から最初の麴(こうじ)づくりに着手、1月24日(火)には酒の発酵を司る酵母を培養する酒母(しゅぼ)の培養を開始、1月31日(火)からは、いよいよモロミ仕込みに入り、1月31日に添(そえ)仕込み、2月2日に仲(なか)仕込み、3日に留(とめ)仕込みと3度にわたり麴と水と蒸米を加えていき、発酵の経過を見守ります。約1か月かけて発酵させた後、新酒を搾る予定となっています。その後、火入れ(加熱殺菌)やびん詰めなどの作業を経て、3月中旬以降から新たな商品の販売を開始する予定です。

・松山酒造について

松山酒造は、1923（大正12）年1月創業し、1958（昭和33）年に月桂冠のグループ会社となり、京都市伏見区下板橋での借蔵による生産を経て、1967（昭和42）年から同区東堺町の現在地で酒造りを行ってきました。しかし、令和3酒造年度（2021年7月からの1年間）からは生産を休止していました。そうした中、松山酒造では今後の会社のあり方を模索し、明治期建造の歴史ある酒蔵で酒造りを復活させる道を選択しました。

2022年内には、新たな酒造りに向けた酒蔵の改装、高品質の酒を小スケールで製造できる醸造機械の新たな装備などの準備を終え、2023年1月から、京都にこだわった酒蔵として製造スタイルを一新して酒造りをスタートしました。3年後には年間350石（63キロリットル）を、5年後には600石（108キロリットル）の出荷・販売を目標としています。

・京都にこだわった酒造り

京都産の酒米「祝」や「京の輝き」など「京都の米」を原料に、綺麗で酒造りに適した「京都伏見の水」、「京都の種もやし（麹菌）」、地方独立行政法人京都市産業技術研究所が開発した「京都酵母」の活用による酒造りで、京都にこだわり特徴を追求していきます。酒質は「純米酒」「純米吟醸酒」に特化し、酒米や酵母の種類を変えて製造、容量・容器は1.8リットルびんと720ミリリットルびんに絞った、シンプルでベーシックな商品構成により展開します。食中酒としてどんな料理とも合う日本酒をめざし、飲食店や情報発信力のある酒販店などでお取り扱いいただくべく営業活動に取り組みます。

酒造りは、月桂冠で高級酒造りを担ってきたベテランの酒造技能者であり、松山酒造の製造部長となった高垣幸男（たかがき・ゆきお）が担当し、クラフトマンシップを発揮して高品質の商品づくりを目指します。高垣幸男は、全国新酒鑑評会（独立行政法人酒類総合研究所と日本酒造組合中央会が共催）で、入賞酒の中でも特に優秀と認められたものに授与される「金賞」を8回受賞、2019年には京都市伝統産業「未来の名匠」にも認定されるなど、その酒造技能が顕彰されています。

・新たなブランド「十石」（じっこく）

新しい酒造りへと転換するにあたり、新たなブランド名を「十石」（じっこく）とすることに決定しました。同年3月からの新商品発売を機に、「十石」の酒銘で商品を世に送り出しアピールしていきます。

「十石」の酒銘は、京の街への玄関口として栄えた地元京都・伏見の界隈で、港湾や河川での交通や運送を担った船舶の一つであり、最も小さな部類に入る十石舟をモチーフに命名しました。小さな舟を大海へと漕ぎ出だすが如く、一から新たなスタートを切り、一步一步、歩みを進め、やがては大成していきたいという意志を酒銘に込めています。商品ラベルなどに用いる「十石」の意匠は、「石」の文字の長く伸びる払いの部分で水の流れをあらわし、小さな屋形船を添えることで、十石舟が航行するさまを描いています。

・歴史由緒

松山酒造の所在地には、もともと江戸期の薩摩島津伏見屋敷がありました。天璋院篤姫の京滞在時の宿泊地であり、寺田屋で襲撃された坂本龍馬は川舟でこの地へ逃れて傷を癒し、また、龍馬と妻のお龍が薩摩に向け旅に出た、日本最初の新婚旅行の出発地でもあります。慶応4（1868）年の鳥羽伏見の戦いで武家屋敷は焼失しましたが、明治45（1912）年、月桂冠がその跡地に酒蔵を構えました。この歴史的な由緒にあふれる地で、松山酒造は新たな酒造りを芽吹かせようとしています。



▲江戸時代の薩摩島津伏見屋敷跡の石碑

■会社概要

松山酒造株式会社

設立：1923(大正12)年1月、1958(昭和33)年、月桂冠が酒造権を取得し関係会社に

所在地：京都市伏見区東堺町472番地

資本金：2,340万円

従業員数：1名 ※2022年9月1日現在

代表者：代表取締役 秦 洋二

主な事業内容：日本酒製造

売上高：8,950万円（2021年度）

ウェブサイト：<https://www.matsuyamasake-kyoto.com/>